



サーモン

タール湖では Bangus の養殖が盛んに行われている様子を目にした。食文化を支える重要な産業である一方、過密養殖などの問題もあり、持続可能性とのバランスが課題となっていることを実感した。



タール湖(養殖場)

【ブルネイの天然資源と食文化】

続いて訪問したブルネイでは、Brunei LNG Sdn. Bhd. や在ブルネイ日本国大使館、ブルネイ経済開発委員会を訪れた。天然ガス資源を基盤とする同国の経済と、日本が長年果たしてきた役割について理解を深めることができた。



4.5kmある栈橋を通じて LNG 船へ積込

また、ブルネイの朝市では、日本とは異なる衛生感覚に驚かされる場面があった。焼き干し魚を使った料理を通じて、現地の生活文化や価値観を身近に感じる体験となった。



朝市

ガス資源に恵まれた豊かな国でありながら、食文化や市場の雰囲気には素朴さが残っており、その対比がブルネイの魅力として強く印象に残った。



ブルネイフレームにて集合写真

【おわりに】

今回の視察を通じて、成長著しいフィリピンと資源国家ブルネイという対照的な二国を訪れ、ASEAN 地域の多様性とダイナミズムを改めて実感した。今後のビジネスや交流を考える上で多くのヒントを得ることができた。

最後に、今回の視察にあたりご準備いただいた事務局の皆様、現地で同行いただいた方々、添乗員の方、そして視察メンバーの皆様にご心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

福岡中央魚市場株式会社
取締役 管理本部長
兼子 泰弘



<https://www.chuo-uoichi.com/>